

永原学園地域子育て支援センター

さんこう・ぽぽらだより

令和6年9月発行 第209号

認定こども園西九州大学附属 三光保育園

TEL:0952-31-6877



9月と10月の「子育て支援事業」のお知らせ

①実施日

- ・9月9日(月)…若楠にこにこサークル
- ・9月10日(火)…なかよしミックス
- ・9月11日(水)…赤ちゃんの日
- ・9月12日(木)…高木瀬あいあいサークル
- ・9月17日(火)・18日(水)・19日(木)…フリーデイ
- ・9月24日(火)…防災講座(各時間 先着3組)
① 9:30~ ②10:45~
- ・10月8日(火)・10日(木)…芋ほり体験(各日先着15組)
- ・10月21日(月)…なかよしミックス
- ・10月22日(火)…赤ちゃんの日
- ・10月23日(水)・25日(金)・28日(月)…フリーデイ
- ・10月24日(木)…ベビーマッサージ講座(先着5組)

②時間:10時~12時

③開催場所:子育て支援センター・運動場

④駐車場:三光保育園駐車場

※三光幼稚園の駐車場と間違わないようお願いします。
くすくすパン屋さんとファミリークリニックの間の道を南側に入って頂くと、左手に三光保育園があります。

⑤申し込み方法:電話予約

9月分の申し込みは、9/2(月)~9時半~17時です。

10月分の申し込みは、10/1(火)~9時半~17時です。

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

★様々な状況により計画の変更や中止が予想されるため、お出かけの前に必ず、ホームページで支援事業の有無をチェックしてください。子育て支援のラインアカウントがありますので、ライン登録をさせていただくのが、一番お勧めです。



「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方にお越し頂き楽しいひと時を過ごしています。

お茶とお菓子を頂きながら、おしゃべりや物づくりを楽しみませんか？

日時:9月13日(金) 敬老の集い

9月20日(金) 分園 PINO

10月29日(火) 花の苗植え

「災害時の対応を家族で考えよう」

今年の夏休み期間は、酷暑に加え地震が起きたり、迷走台風に日本中が振り回されて大変でした。

特に8月8日の宮崎沖地震は佐賀市でも震度4を記録し、園舎内にいた園児と私達は一瞬“えっ！地震？”と、行動がフリーズしてしまう程でした。我に返った先生の声に素早く反応した園の子ども達は、しっかり机の下にもぐりこみ、日頃の避難練習の成果を発揮してくれました。今更ながらですが、日頃の繰り返しの練習がとても大事なことを実感した次第です。

そんな中、自分自身が地区の防災対策講座に参加する機会がありました。そこで新たな知識として、水や懐中電灯に加え、災害対策トイレセット、防災ご飯類の確保が必要だと実感しました。水を加えただけの防災ご飯を試食してみると美味しいと感じるくらいグレードが上がっていました。

家庭でも、子ども達と一緒に万が一の備えをしていきましょう。2学期もぽぽらの活動を楽しんで下さい。
(三光保育園園長)



♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時~16時までは、西九州大学短期大学部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

(受付時間:平日の9:30~17:00まで)

さんこう・ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯について

【開園日】〇月~金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】 〇9:00~12:30、13:30~16:00

※12:30~13:30 昼休み・準備の為閉園

【お知らせ】

※熱中症指数が高い場合は、安全上中止します。

※園行事の為、ご利用できない場合があります。

※出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

※ご希望の場合は電話でお問い合わせください。

寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学部の窓から

子育て便り

子どもの成長とストレングス

社会福祉学科・講師・土井幸治

私は、大学教員になる前までスクールソーシャルワーカーとして、学校現場で不登校、いじめ、非行、児童虐待、発達障害等の子どもに係る支援を行ってきました。子どもの抱える悩みを解決していくためには、子どもはもちろんですが、その周囲の大人たちがどのように関わるかということも重要です。難しい問題にぶつかったときには、子どもを含め、関係者で、子どものために出来ることを考えていきます。そのときによく話題になるのは、出来ないことを出来るようにしていきたいという考え方です。個人差はありますが、子どもは成長をしていく存在であり、周囲の大人はその応援者です。そのため、子どもに出来ないことがあると少しでも出来るように関わっていくという発想は当然です。このことは、子どもの成長にとって大切なことですが、ときに出来ないことにばかりに目が向いてしまい、ものごとが思うように進まず、子どもにあたってしまうことも少なくありません。そのようなときは、思いっきり視点を切り替えて、子どもの出来ていることに目を向けるようにしています。つまり、出来ていることをもっと伸ばすという発想です。これも子どもの発達・成長の大切な形です。

この出来ていることをもっと伸ばすときに必要な視点が、「ストレングス」です。ストレングスとは、強さ・長所・良いところなど訳されます。このストレングスとは、単に、勉強ができる、運動が得意などだけではありません。〇〇に関心がある、好きだ、将来〇〇になりたいと思っているなどの「思い」を持っていることもストレングスです。またお絵かきが上手、お話が上手などのあらゆる「能力」もそうです。そして、元気がいい、明るい、優しいなどの「性格」もそうです。いま紹介したストレングスは、その人自身の力ですが、家族、先生、お友だちなどの「社会関係」の有無も大切なストレングスと言われています。子どもにとっての大切な社会関係である私たちが、子どものストレングスに気づき、そのストレングスを活かした生き方を支援することは、子どもの大きな成長につながります。

子どもへの関りに対して、一つの視点を知ったからと言って、何でもうまくいくような簡単なものではないことは重々承知しておりますが、一つでも多くの視点をしておくことは、うまく行っていないときに切り替えるチャンネルの一つだと思います。子育てに奮闘される保護者さんたちのそのチャンネルの一つになればと思います。